

図書館におけるICT化の推進「～いつでもどこでも図書館～」事業の実施について

1 趣旨

図書館の更なるICT化を図り、利便性向上や利用促進を図るため、次のとおり実施する。

2 実施事業

(1) 3D書架ブラウジングサービス

ア 概要

全館の蔵書図書の背表紙を撮影し、Web上に3D書架（仮想本棚）を構築することで、実際の本棚をブラウジングするように、本との偶然の出会いを創出し、時間や場所に縛られない、新たな図書館の利用機会を提供する（約65万タイトル）。

従来の蔵書検索システム（OPAC）と連携し、資料の貸出状況や詳細情報の確認、予約まで行える仕組みとすることで、図書館の利用促進を図る。

イ 開始時期（予定）

令和8年10月下旬

(2) シビックセンター受取サービス

ア 概要

シビックセンター内に受取ボックスを設置し、図書館に行かなくてもシビックセンターの開館時間内に予約資料の受取を可能とすることで、通勤・通学者等の利便性を向上する。

イ 開始時期（予定）

令和8年9月

ウ 設置場所及び箱数

設置場所：シビックセンター1階 エスカレーター前

箱数：78箱（39箱×2台）

エ 利用方法

受取ボックスの管理システム（LINEミニアプリ）を登録。Web上で図書館資料を予約し、受取ボックスに準備ができ次第、アプリ上で通知され、受け取りが可能となる。

(3) 小学生及び中高生世代向け電子書籍サービス

ア 概要

小学生及び中高生世代を対象に、18歳になる年度末まで継続して利用できる区立図書館の電子書籍用ID及びパスワードを、区立学校や図書館窓口で配付し、タブレット端末等を活用して、いつでもどこでも本に触れることができる環境を整備し、読書機会を確保する。

また、同じ本を、何人でも同時に読むことができる電子書籍の充実を図る。

イ 開始時期（予定）

令和8年9月